

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設 の 名 称	宮城県仙南総合プール
指 定 管 理 者 の 名 称	セントラルスポーツ株式会社
施 設 所 管 部 課 ( 室 )	企画部スポーツ振興課

## 1. 当該施設の管理形態の推移【施設所管課記入】

期 間	管理形態	指定管理者(管理受託者)の名称	摘 要
平成24年4月～平成29年3月	指定管理者	陽光セントラル共同企業体	
平成29年4月～令和4年3月	指定管理者	セントラルスポーツ株式会社	
令和4年4月～令和9年3月	指定管理者	セントラルスポーツ株式会社	

(注)管理形態欄には、直営・管理委託・指定管理者の別を記入してください。

## 2. 現指定管理者の概要【施設所管課記入】

指 定 管 理 者 の 名 称	名 称	セントラルスポーツ株式会社
	所在地	東京都中央区新川一丁目21-2茅場町タワー2階
指 定 期 間	令和4年4月1日～令和9年3月31日(5か年)	
募 集 方 法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	

## 3. 施設の概要【施設所管課記入】

施 設 の 名 称	宮城県仙南総合プール(ヒルズ県南総合プール)	
所 在 地	柴田郡柴田町大字本船迫十八津入地内	
設 置 年 月	平成11年4月	
根 拠 条 例 等	総合運動場条例	
設 置 目 的	スポーツ普及振興を図り、もって県民の心身の健全な発達と福祉の増進に資するため	
施 設 の 内 容	敷 地 面 積	22,588.03㎡
	構 造	鉄筋コンクリート造 地上2階地下1階建
	内 容	温水プール、トレーニングルーム、スタジオ、会議室
開 館 ( 所 ) 日	休館日(毎週水曜)及び年末年始(12月29日～1月3日)を除く毎日	
開 館 ( 所 ) 時 間	平日:午前9時から午後9時まで 日・祝日:午前11時から午後7時まで	
指 定 管 理 者 が 行 う 業 務 の 範 囲	1、施設全体の管理運營業務 2、施設の使用許可申請の受付及び許可並びに利用料金の収受に関する業務 3、施設の使用制限及び入場の拒否等に関する業務 4、施設の機械設備操作・日常点検業務 5、施設・設備、物品及び敷地の維持管理業務 6、その他施設の管理運營業務に関して宮城県教育委員会が必要と認める業務	
利 用 料 金 制	採 用 の 有 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	利 用 料 金 の 名 称	施設利用料金

4. 施設利用実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 開館(所)日数及び利用者数

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和4年度) (A)	前年度 (令和3年度) (B)	評価対象年度 (令和4年度) (C)		
開館(所)日数	307 日	298 日	307 日	100.0%	103.0%
延べ利用者数	41,559 人	40,744 人	10,592 人	25.5%	26.0%

(注)対象施設が複数ある場合は、施設ごとに記入してください。

(2) 延べ利用者数の内訳

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和4年度) (A)	前年度 (令和3年度) (B)	評価対象年度 (令和4年度) (C)		
プール	32,592 人	31,953 人	2,759 人	8.5%	8.6%
トレーニングジム・スタジオ	7,916 人	7,761 人	7,580 人	95.8%	97.7%
会議室	1,051 人	1,030 人	253 人	24.1%	24.6%
	人	人	人	-	-
	人	人	人	-	-
合 計	41,559 人	40,744 人	10,592 人	25.5%	26.0%

5. 管理運営収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 収入

(単位:千円、%)

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和4年度) (A)	前年度 (令和3年度) (B)	評価対象年度 (令和4年度) (C)		
県指定管理料	30,600	30,616	30,600	100.0%	99.9%
利用料金収入	8,794	6,865	1,736	19.7%	25.3%
その他(自主事業・休業補償)	41,749	34,734	31,174	74.7%	89.8%
収入計 (a)	81,143	72,215	63,510	78.3%	87.9%

(2) 支出

人件費	22,750	18,742	21,941	96.4%	117.1%
施設管理費	34,333	32,736	22,011	64.1%	67.2%
事業運営費	2,780	2,117	2,310	83.1%	109.1%
その他(自主事業)	21,340	18,465	14,166	66.4%	76.7%
支出計 (b)	81,203	72,060	60,428	74.4%	83.9%

(3) 収支

収 支 (c)=(a)-(b)	-60	155	3,082	-5136.7%	1988.4%
前期繰越収支差額		3,914	155	-	4.0%
次期繰越収支差額		155	3,082	-	1988.4%

※ 自主事業を実施している場合は、上記に準じて自主事業の収支実績を別掲すること。

## 5. 自主事業収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 収入 (単位:千円、%)

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (令和4年度) (A)	前 年 度 (令和3年度) (B)	評価対象年度 (令和4年度) (C)		
自主事業収入	41,749	32,718	8,171	19.6%	25.0%
その他		463	161	-	34.8%
				-	-
収入計 (a)	41,749	33,181	8,332	20.0%	25.1%

(2) 支出

人件費	16,200	13,651	12,881	79.5%	94.4%
事業運営費	4,150	4,064	955	23.0%	23.5%
販売品仕入	160	27	14	8.8%	51.9%
諸経費	830	723	317	38.2%	43.8%
支出計 (b)	21,340	18,465	14,167	66.4%	76.7%

(3) 収支

収 支 (c)=(a)-(b)	20,409	14,716	-5,835	-28.6%	-39.7%
前期繰越収支差額		10,730	14,716	-	137.1%
次期繰越収支差額		14,716	-5,835	-	-39.7%

6. 評価対象年度(令和4年度)の管理運営評価【指定管理者・施設所管課記入】

項目	事業実績 【指定管理者記入】		指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】		
				評価		評価	
①管理運営体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プール営業休業期間中は、トレーニングジム、スタジオ利用者の体調や安全管理に努めました。</li> <li>・感染症対策を継続し、備品管理の充実に努めました。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・始業・終業、監視巡回等の人員配置を適正化に努めました。</li> <li>・入館時の検温、マスク着用、アルコール消毒の徹底、スタッフ体調管理を通年にて取り組みました。</li> </ul>		A	<p>適切な人員配置のもと、来場者の立場で対応する等事業計画に沿った管理運営が行われている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染防止対策も適切に行われており、安定した管理運営体制となっている。</p>	A
人員体制	正規 3人	非正規 15人					
②施設・設備の維持管理業務の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震被害復旧工事、ろ過装置修理など、プール営業再開に向け、業者と連携し工事の完遂に努めました。</li> <li>・設備保守点検を計画的に基づき実施し、設備の維持管理に努めました。</li> <li>・電気、水道、灯油の使用量を把握し、適正管理に努めました。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・修理業者と逐次連絡を取り、関連設備との兼ね合いを考慮しながら対応いたしました。</li> <li>・業者による専門的な点検、巡回による目視点検により、修繕が必要な場合は計画的に実施いたしました。</li> <li>・水道光熱費は照明時間、ボイラー燃焼時間を適正化し可能な限り抑制に努めました。</li> </ul>		A	<p>施設設備の定期点検を実施し、修繕必要箇所の早期発見とその対応により、適切な施設の維持管理に努めている。職員の点検だけでは確認できない故障が発生したが、工事業者、営繕課等と連携し、早期復旧に努めた。</p>	A
③運営業務(ソフト事業等)の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プール営業休止に伴い、勤務内容変更についてスタッフに協力を仰ぎました。</li> <li>・スタッフ研修を定期的実施し、接客マナー向上、安全管理の向上に努めました。</li> <li>・施設利用時の感染症予防対策の啓蒙及び徹底に努めました。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・雇用を維持すべく施設内外の整備作業に努めました。コーチ離職も続きましたが、年度末から募集し、再開に備えました。</li> <li>・ジム、スタジオ、会議室などの利用者には都度丁寧な対応に努めました。</li> <li>・感染症予防対策として掲示物での啓蒙、スタッフ巡回時の除菌清掃を通年取り組みました。</li> </ul>		A	<p>プール施設設備故障により長期休止を余儀なくされたが、プール運営中にはこれまで目の行き届きにくかった植栽整備や清掃を行うなど、適正な施設の管理に努めていた。</p>	A
④自主事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通年ではスタジオにおける活動が主となり、キッズ体育、ダンススクールを継続実施し、地域お子様の受入に努めました。</li> <li>・成人レッスンにおいては、通年スタジオレッスンを稼動し四半期毎にプログラムを見直し提供いたしました。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・キッズスイミングスクールの退会が続き、3月末時点での会員数は前年比63.0%まで落ち込みました。体育、ダンススクールは短期教室、一日体験を実施し、感染症予防対策の徹底と共に会員数維持に努めました。</li> <li>・スタジオレッスンの需要は変わらず高く、参、ニーズに応じたプログラム提供に努めました。</li> </ul>		B	<p>プール営業の長期休止に伴い、会員数が減少したものの、子ども向けの体育教室などプール以外で可能な限り事業を実施していた。</p>	B
⑤利用者サービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設内外環境整備、設備修繕に取り組み、安全性の向上、快適な環境の提供に取り組みました。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地内の植栽や外溝整備に注力し近隣住民との良好な関係を維持できました。また、館内床の剥離清掃、観客席やプールサイドの錆除去や再塗装に注力いたしました。</li> <li>・ストレッチルームリニューアル、トレッドミルのベルトなど経年による劣化した設備を更新いたしました。</li> </ul>		A	<p>プール施設休止中は、施設的环境整備等に努め、利用者サービスの向上を図る動きが見られた。</p>	A
⑥利用者の苦情、要望等の把握とその反映	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見箱の設置、本社カスタマーを通じ、苦情、ご要望を把握し対応に努めました。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・通年において、プール営業再開時期について特に電話でのお問合せが日常的にありました。都度、真摯にご説明をしご理解を求めました。</li> </ul>		A	<p>施設休止に伴う利用者から寄せられた多くの苦情等に適切に対応した。</p>	S
⑦安全対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務開始時に、AED・CPRトレーニングを義務付けし取り組みました。</li> <li>・消防避難訓練を定期実施いたしました。</li> <li>・始業終業時の設備点検、スクールバスの降車確認を確実に実施いたしました。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・館内外の巡回を毎時間実施し、体調不良者や不審物、不審者に備えた人員配置に努めました。</li> <li>・年2回の消防避難訓練に付随し、地震を想定した防災訓練を実施いたしました。</li> <li>・スクールバスの降車時における目視確認を徹底し安全運行に取り組みました。</li> <li>・ソーラー蓄電式の外灯を設置いたしました。</li> </ul>		A	<p>CPR(心肺蘇生法)トレーニングを義務化し、災害発生を想定した避難訓練実施により、不測の事態に備えている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、シールドを更新し、また、スクールバスの降車忘れの無いように対応するなど、適切なバス安全運行の体制も取られている。</p>	A
⑧県民の平等利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全世代の方々に向けて快適な利用環境を整備し、個々の事情に応じた環境の構築に努めました。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い県民の方々が利用されるための、情報発信として、HPやGoogleMapを活用し取り組みました。会議室を有効活用し、授乳や軽度認知症の方などお着替え介助として準備しておりました。</li> </ul>		A	<p>適時HPからの情報発信に努めている。</p> <p>既存の施設を有効に活用し、利用者の個別の状況に応じ、弾力的に対応している。</p>	S

項目	事業実績 【指定管理者記入】	指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】	県の評価 【施設所管課記入】		
			評価	評価	
⑨個人情報の保護	・法令に基づき、弊社マニュアルによる研修を定期的実施し、施設長管理の元適切に管理しております。	・年に一回定期研修及び、新規採用スタッフには都度研修を行い、研修終了後に確認テストを実施いたしました。 ・管理文書は鍵付き金庫、書庫にて適切に管理いたしました。	A	個人情報保護研修を実施し、理解度の確認のためテストを行う等、制度の理解を深め、情報の漏えい、き損の防止に努めました。	A
⑩利用実績	・前記【4. 施設利用実績】の通り	施設延べ利用者数 10,592名 対計画比26.0%、対前年比26.5% プール営業休止の影響を大きく受けました。 感染症予防対策を講じ、トレーニングジム、スタジオはほぼ例年通りの利用者数となりました。	C	プール営業休止に伴い、利用実績の大幅な落ち込みはあったものの、トレーニングジム・スタジオについてはおおむね前年度と同等の利用があり、指定管理者として可能な範囲において、施設維持に努めた。	B
⑪収支実績	・前記【5. 管理運営収支実績】の通り	◇収入 63,510千円 対計画比 78.3%、対前年比 87.9% 減収補填補償金を交付いただきましたが、減収は否めない状況となりました。 ◇支出 60,428千円 対計画比 74.4% 対前年比 83.9% 水道光熱費など節約に努め、不要な支出を抑制いたしました。	C	プール営業休止に伴い、利用料収入の大幅な落ち込みはあったものの、支出の抑制に努めた。	B
⑫その他の取組	・柴田町教育委員会より中学生の職場体験を受け入れ。 ・グリーン購入の推進。 ・大雨時に一時避難場所として、旧プール敷地を近隣住民や企業へ無償提供。 ・植栽管理により、施設通り道を再整備いたしました。	・柴田町からの各種プール利用の要望は多数いただきましたが、実現に至らず。次年度へ持越しとなります。 ・環境保全型の商品購入を継続しおこないました。	A	プール施設休止に伴い、実現には至らなかったものの、町の事業に協力し、地域活動に参加するなど、地域住民に開かれた施設として積極的にPRしている。	A
総合評価		令和4年度は指定管理5か年の始まりでしたが、プール営業が休止となり、苦しい運営状況が続きました。雇用の維持にも苦慮し、施設整備とトレーニングジム、スタジオ営業に注力しながら、利用者との繋がりを保ち続けました。宮城県より減収補填補償金が交付され何とか一年を終えることができました。次年度にはプール営業も再開することから、県民の方々により一層ご支持いただける誠実な運営と設備保全に努めて参ります。	B	プール施設設備故障による長期休止があったものの、指定管理者として可能な限り、サービス向上や環境整備に努め、適切な管理を行っている	A

【指定管理者が行う自己評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営を行った。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営を行った。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかった。大いに改善努力が必要である。

【県が行う評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営が行われた。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営が行われた。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善努力が必要である。

7. 施設管理運営の課題等【指定管理者・施設所管課記入】

項目	指定管理者 【指定管理者記入】	県 【施設所管課記入】
管理運営の課題等	施設設備の経年劣化に対し、次年度以降にて逐次更新をいただけるよう、見積書など資料提出を進めました。また、大規模修繕も次年度に予定されていることから、そのご理解を求めることが一つ大きな課題です。感染症への対応も変わり、より多くの県民の方々にご利用いただけますよう、施設活用の手立てを講じてまいります。	施設設備の経年劣化等が認められることから、急な故障により長期閉鎖とならないよう、耐用年数等に応じた計画的な各設備更新などの対策を図っていく必要がある。